１．IT導入補助金の概要
２．申請要件・審査のポイント
３．申請方法から補助金交付までの流れ
４．これまでの実績
５．活用事例
６．申請スケジュール

「IT導入補助金2022」の申請・採択結果

申請類型	申請件数（件）	採択件数（件）
通常枠	24,095	13,959
デジタル化基盤導入類型	38,799	32,191
複数社連携IT導入類型	7	4
セキュリティ対策推進枠	204	198

※2023年3月3日時点

１．IT導入補助金の概要
２．申請要件・審査のポイント
３．申請方法から補助金交付までの流れ
４．これまでの実績
５．活用事例
６．申請スケジュール

ITツールの導入／活用事例（28補正･サービス等生産性向上IT導入支援事業）

学習業

・バレエ教室と学習塾を併設。予約管理や生徒の出欠をITツールで管理。
・業務効率化により、授業やレッスン内容の充実化や保護者との連絡が円滑化する等、サービス向上に寄与。

導入したITツール

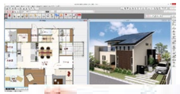
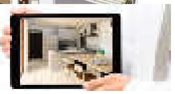
・主な機能：コミュニケーション、顧客管理、人事シフト、原価管理･業務管理

建設業

・3次元パース（画像）での施主へのわかりやすい提案や顧客情報管理によるサービスの向上を実現。
・企画設計についても、これまでの業務比10%以上の効率化を図ることが可能に。

導入したITツール

・主な機能：販売･店頭、顧客管理

製造業

・2日要していた給与計算と管理帳票の作成が数時間程度の作業となり、大幅な業務効率化。
・残業時間の即時把握が可能となり、残業時間削減の意識向上に寄与。

導入したITツール

・主な機能：コミュニケーション、人事シフト、原価管理･業務管理、給与

通信業

・クラウドで即時に業績を可能に。月次の経営管理資料作成日数を5日間削減。
・各種精算データを会計システムに入力する作業が2時間から0に。今後社員が増加しても作業量は増加しない見込み。

導入したITツール

・主な機能　：受発注、原価管理・業務管理、財務・会計管理

清掃業

・売上計上漏れの防止や請求回収漏れの防止、事務と営業の情報共有の円滑化による作業時間の短縮を実現。
・事業計画作成を通じ、経営課題を発見。生産性向上に係る社員の意識改革にも寄与。

導入したITツール

・主な機能：顧客管理、受発注、原価管理･業務管理

士業

・顧客情報の一元管理、システム間の円滑なデータ連携により、データの入力関連の業務が効率化。
・税務届出書類の確認、作成、提出が電子化され、業務効率化を実現。

導入したITツール

・主な機能：コミュニケーション、販売･店頭、決済、顧客管理、原価管理･業務管理、財務･会計管理

飲食業

・原価率の見える化を通じて、仕入れ価格の削減に努める等、経営の体質改善を実現。
・Excelで管理していた給与計算を効率化（手書きで半日→1時間）

導入したITツール

・主な機能：決済、顧客管理、原価管理･業務管理、財務･会計管理、給与

宿泊業

・手書きの予約台帳をスタッフ全員に配っていたが、予約、会計管理、顧客情報等の情報をタブレットでスタッフ間において共有するITツールを導入。
・導入後3年間で売上35%増を実現。

導入したITツール

・主な機能：予約、顧客管理、原価管理･業務管理、財務･会計管理

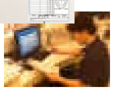
医療業

・予約、顧客/財務管理の一括管理、自動入力による効率化を実現（1患者当たり1分削減）。
・入力ミス解消により、訂正に係る作業時間を削減（1件10分程度）。

導入したITツール

・主な機能：予約、顧客管理、原価管理･業務管理、財務･会計管理

（イメージ：カルテ画面）



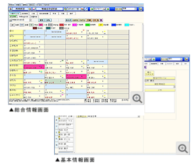
介護業

・転記等の2重作業が解消し、請求業務に係る時間が1割に。
・作業時間短縮により、新規事業へ注力する余裕が生じるとともに、顧客訪問前の職員とヘルパーとの情報共有も充実。

導入したITツール

・主な機能：顧客管理、原価管理･業務管理、財務･会計管理

（イメージ：請求システム画面）



保育業

・帳票の作成、確認時間短縮(園長60分/月、保育士1名130分/月の削減)。
・登降園、出退勤の集計作業時間の短縮(園長120分/月、保育士1名75分の削減)

導入したITツール

・主な機能：コミュニケーション、顧客管理、人事シフト、原価管理･業務管理

小売･卸

・人事管理と会計･給与計算のシステムを導入し、システム連携させることにより、業務時間短縮を実現（約10時間/月）。
・今後は人事管理システムも本格稼働させ、さらなるIT化を図る。

導入したITツール

・主な機能　：業務管理、財務･会計管理

IT導入補助金の活用事例（小売業）

IT導入補助金2020　活用事例

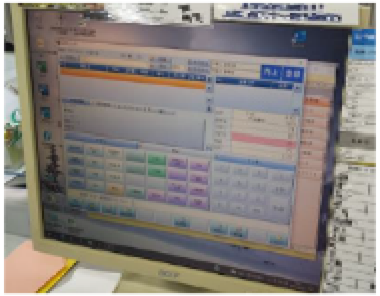
小売業　**株式会社かがし屋**

④業種特化型

【申請類型】
IT導入補助金2020 通常枠（A類型）

【事業者情報】
住所：福岡県うきは市　設立：1979年　従業員数：352名
売上高：約7,763百万円　URL　https://www.kagasiya.co.jp/

- 文具用品・OA機器販売、介護福祉事業、ドコモショップの運営など、多角的に事業展開
- 経済産業省「地域未来牽引企業」選定企業
- SDGsの自社目標を毎期定め、積極的に取り組んでいる



導入したITツールの操作画面

抱えていた経営課題

- 携帯電話に関するアイテム数が増加する中、棚卸は手作業で行っており、商品数の把握に時間を要していた。
- 従業員の勤務時間短縮を進めていきたい。
- これまで使っていたPOSシステムのライセンス期間が終了し、次期システムの導入が必要になっていた。

導入後の変化、効率化された業務

- 携帯電話本体等に関する最新のマスタデータが、リアルタイムに配信されるようになった。
- RFIDリーダーを使った棚卸に変更。一回の処理で商品の入荷処理を一括で行うことができるようになった。
- 電話で確認せずとも、各店舗の在庫をリアルタイムで把握できるようになった。

導入したITツール

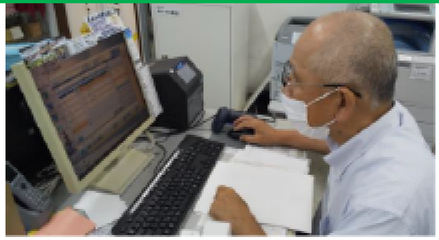
携帯電話販売管理ネットワークシステム
MK.NS（本部機能・店舗機能）
https://www.broadleaf.co.jp/products/mkns/

携帯電話本体、付属品といったカタログデータが自動配信されるだけでなく、売上・仕入・在庫も一元管理でき、業務効率化にも寄与する。

IT導入支援事業者　株式会社ブロードリーフ

成果

全店舗への導入により
棚卸時間が
50％削減見込み！



- スピーディー、かつ、今まで以上に正確な棚卸作業を実現。
- 商品在庫のある店舗を即座に把握できるようになり、販売ロスの削減と顧客満足度の向上につながった。

IT導入補助金の活用事例（飲食業）

IT導入補助金2020　活用事例

飲食業　杏亭グループ

②決済・債権債務・資金回収管理

【申請類型】
IT導入補助金2020 特別枠（C類型-2）

【事業者情報】
所在地　：和歌山県和歌山市
創業　　：1993年　従業員数：41名（パート含）
URL　　：http://fortunebox.biz/wakayama/

- 「残されないお弁当作り」をモットーに、味と食材にこだわった弁当店を展開。
- 「食品衛生優秀施設」表彰（和歌山市）

← 端末による非対面注文を実現。

複数台設置で店内の混雑も緩和された。

抱えていた経営課題

- スタッフ1名が対面接客。ランチタイムは行列が発生。コロナ禍でウイルス感染に対する不安感もあった。
- 支払いは現金のみで、釣り銭の受け渡しミスが発生。
- 手書き伝票によるオーダーミスも発生。
- 売上分析が不十分で、現場の肌感覚でチラシ作成やメニュー改定を行っていた。

導入後の変化、効率化された業務

- セルフ注文・レジ導入でミスが激減。非対面化・キャッシュレス化も実現。
- 正確な売上データを瞬時に自動取得できるようになった。
- 作業時間に余裕ができた分、料理にひと手間かけるなど、料理の質や顧客満足度の向上に力を注げるようになった。

導入したITツール

POSレジ・オーダーシステム
『tenpos Air（テンポスエアー）』
https://www.tenpos.jp/index.html

抜群の操作性・ストレスのない操作スピードを実現！

IT導入支援事業者：株式会社テンポス情報館

成果

会計ミスは９割削減！
顧客単価が２割アップ！

- スタッフと注文や金銭の受け渡しがなくなり、顧客に安心感を与えることができた。
- トッピングなどの追加注文が増加。
- 売上データの分析等*を行い、販売実績に基づいたチラシ作成やメニュー改定が可能となった。

*「中小企業デジタル化応援隊事業」を活用。

IT導入補助金の活用事例（医療業）

IT導入補助金2020　活用事例

医療業　**医療法人社団SED**

④業種特化型

【申請類型】
IT導入補助金2020 特別枠（C類型-1）

【事業者情報】
所在地：神奈川県　創業：2013年　従業員数：31名
URL　：汐入駅前歯科（横須賀市）
https://www.yokosuka-implant.com/
：Smile10デンタルクリニック（横浜市）
https://www.smile10.jp/

- “上質な歯科治療”をコンセプトに質の高い歯科治療を提供。

←導入したITツールの操作画面

抱えていた経営課題

- 外来患者の来院対応、次回予約、会計など、多岐にわたる受付業務において作業の停滞が生じていた。
- 紙カルテのデータ化・保管作業が診療時間内に完了せず、残業が発生していた。
- 患者ごと・診療ごとにカルテを保管していたため、過去の診療内容の確認に時間を要し、保管場所の確保も必要だった。

コロナ禍でも積極的にIT導入を実施

- 電子カルテ化を実現。院内の全てのPCからカルテが確認可能になった。
- 電子カルテ情報は、既存のインターネット予約システムと連携。
- 専門家に「LINEを活用した集客策」や「オンライン無料診察」の導入支援を受けた。

*中小企業デジタル化応援隊事業を活用

導入したITツール

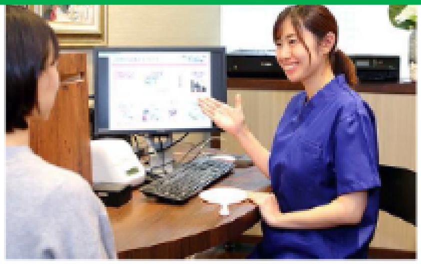
歯科電子カルテ搭載システム
『WiseStaff-9 Plus』

https://www.nhosa.com/product/wisestaff/
いつものカルテ入力操作をするだけで、
「簡単に」「正確な」電子カルテの作成。

IT導入支援事業者：ノーザシステム販売コンソーシアム

成果

電子カルテ化で入力時間５割短縮！
カルテ保管スペースが大幅削減！



- 患者の待ち時間が大幅に短縮でき、サービスの質が向上した。
- 過去の診療結果が速やかに確認できるため、診療がよりスムーズになった。
- LINEの公式アカウントを立ち上げ、新規顧客獲得に向けたPRを開始。

1．IT導入補助金の概要
2．申請要件･審査のポイント
3．申請方法から補助金交付までの流れ
4．これまでの実績
5．活用事例
6．申請スケジュール

「IT導入補助金2023」のスケジュール

IT導入支援事業者登録申請	令和５年３月２０日（月）～
ITツール登録申請	令和５年３月２０日（月）～
中小企業の補助金交付申請	**令和５年３月２８日（火）～** **【通常枠】※１ヶ月に約１回締切** **１次締切り：４月末（予定）【直近】** **【デジタル化基盤導入類型】】※１ヶ月に約２回締切** **１次締切り：４月末（予定）【直近】** **【複数社連携IT導入類型】** **１次締切り：５月末（予定）【直近】** **【セキュリティ対策推進枠】※１ヶ月に約１回締切** **１次締切り：４月末（予定）【直近】**
事業実施期間 （事業実績報告期間）	交付決定後～６カ月程度（詳細日時は別途指定あり） **※交付申請の提出時期により、事業実施期間が３か月程度の場合もある**ため、 事業実施期間内に事業の実施及び事業実施報告書類の提出が可能か 事前に十分確認を行い、申請を行うこと。
事業実施効果報告期間	【通常枠】 令和７年度から３年間。各年度1回ずつの簡単な報告（計３回）。 【デジタル化基盤導入類型】 令和６年度に１回の報告。 【複数社連携IT導入類型】 令和７年度から２年間。各年度1回ずつの簡単な報告（計２回）。 【セキュリティ対策推進枠】 令和９年度に１回の報告。

- サービス等生産性向上IT導入支援事業
事務局ポータルサイト

https://www.it-hojo.jp/